

HP Performance Manager

Windows®、HP-UX、Solaris、および Linux オペレーティングシステム
向け

ソフトウェアバージョン: 9.20

インストール、アップグレード、および移行ガイド

ドキュメントリリース日: 2014 年 5 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 5 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここで記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2007-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Java™ およびすべての Java ベースの商標とロゴは、米国およびその他の各国のサン・マイクロシステムズ社の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、米国におけるマイクロソフト企業グループの登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation (カリフォルニア州 Redwood City) の米国登録商標です。

OSF/Motif® および Open Software Foundation® は The Open Group の米国およびその他の国における商標です。

Pentium® は、インテル社の米国登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

謝辞

本製品には、OpenSSL ツールキットで使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) 氏によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) 氏によって作成されたソフトウェアが含まれています。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。 <http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passport のログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポート オンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Software Solutions Now!は、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

目次	4
第1章: このドキュメントで使用される表記法	1
第2章: インストール概要	3
インストールの前提条件	3
サポートされたプラットフォーム	3
Solaris ゾーンでサポートされる Performance Manager の設定	4
インストール要件	4
ハードウェアの要件	5
メモリの要件	6
サポートされたブラウザ	6
Java 実行環境 (JRE) の要件	7
HP-UX	7
Windows	7
言語のオプション	7
第3章: インストールの手順	8
Performance Manager の Windows へのインストール	9
サポート付きインストール	9
サポートなしインストール	11
HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール	12
サポート付きインストール	12
サポートなしインストール	15
インストール結果	15
Performance Manager ライセンスキーのインストール	16
HP Performance Manager の削除	18
HP Performance Manager の Windows からのアンインストール	19
サポート付きアンインストール	19
サポートなしアンインストール	19
HP Performance Manager の HP-UX、Solaris、Linux からのアンインストール	20
設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除	20

クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除	20
第4章: Performance Manager 9.20 へのアップグレード	22
Performance Manager バージョン 8.20 または 9.00 からのアップグレード	23
Windows での Performance Manager 9.20 へのアップグレード	23
HP-UX、Solaris、Linux での Performance Manager 9.20 へのアップグレード	24
アップグレード結果	25
第5章: Performance Manager のクラスタ環境でのインストール	27
クラスタ用語	27
リソースグループ	27
システム要件	28
Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件	28
インストール前に	28
Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール	29
HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする 場合	29
HP-UX、Solaris、および Linux の各ノードのデータ ディレクトリのファイルシステムの準備	32
HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール	32
クラスタにインストールした Performance Manager を 9.20 へアップグレード	34
HP Performance Manager の削除	34
関連ドキュメント	35
コンポーネントおよびパッチ	36
パッチ コマンド	40
サイト固有のパッチ	40
お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。	41

第1章: このドキュメントで使用される表記法

このドキュメントでは、HP Performance Manager サーバー システム上のファイルの場所を参照する場合、以下の表記法が使用されます。

注: スラッシュは、UNIX システムではフォワード スラッシュ「/」、Windows システムではバック スラッシュ「\」が使用されます。このドキュメントの例および仕様には、フォワード スラッシュ「/」が使用されます。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<code><install_dir></code>	Performance Manager がインストールされたディレクトリ。	デフォルトのインストールディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。ご使用のシステムに OpenView Performance Agent、OpenView Reporter または OpenView Operations など、以前のバージョンの HP Software 製品がインストールされている場合、デフォルトの Performance Manager インストールディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView です。	HP-UX、Solaris、および Linux システムでは、インストールディレクトリは /opt/OV です。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<data_dir>	HP Software 製品に関連するデータファイルおよびログファイルの格納先となる共有データディレクトリ	<p>Windows 2003 では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。</p> <p>Windows 2008 では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。</p> <p>ご使用のシステムに OpenView Performance Agent、OpenView Reporter または OpenView Operations などの旧バージョンの HP Software 製品がインストール済みである場合、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView\data です。</p>	HP-UX、Solaris、および Linux システムでは、データ ディレクトリは /var/opt/OV です。
<PM_data_dir>	Performance Manager データファイルが保管されるディレクトリ。	<p>Windows では、デフォルトの Performance Manager データ ディレクトリは <data_dir>\shared\server\ です。</p> <p>しかし、Windows クラスタ環境でのデフォルトのデータ ディレクトリは別の場所です。詳細については、「Performance Manager のクラスタ環境でのインストール」(27ページ)を参照してください。</p>	HP-UX、Solaris、および Linux システムでは、Performance Manager データ ディレクトリは /var/opt/OV/shared/server です。

第2章: インストール概要

このガイドでは、Performance Manager 9.20 のインストール方法と Performance Manager 9.20 へのアップグレード方法について説明します。

この章では、以下の情報を説明しています。

- Performance Manager の最新バージョンが動作するオペレーティングシステム。
- Performance Manager を実行するために必要なハードウェア/ソフトウェアコンポーネント。
- 操作環境に必要なコンポーネント。

HP Performance Manager をインストールする前に、「[インストール要件](#)」(4ページ)を確認してください。Performance Manager のマニュアルについては、「[関連ドキュメント](#)」(35ページ)を参照してください。

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) (Windows 版または UNIX 版)を使用する場合は、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定しておく必要があります。

インストールの前提条件

Performance Manager をインストールする前に、OvJREB を使用しているプロセスまたはアプリケーションを、すべて停止する必要があります。プロセスまたはアプリケーションを停止する手順については、該当製品またはアプリケーションの製品マニュアルを参照してください。

サポートされたプラットフォーム

本バージョンの Performance Manager は、次のプラットフォームで使用可能です。

オペレーティングシステム	アーキテクチャ	バージョン
Microsoft Windows	X86 および x64 (AMD64 および EM64T を含む)	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2003、サービスパック 2• Windows Server 2003、リリース 2、サービスパック 2• Windows Server 2008、サービスパック 1• Windows Server 2008、サービスパック 2• Windows Server 2008 リリース 2• Windows Server 2008、リリース 2、サービスパック 1• Windows Server 2012、リリース 2
HP-UX	IPF	HP-UX 11iV2 および HP-UX 11iV3
Sun Solaris	Sun SPARC	Solaris Sparc 10、11
Linux	Intel 64	RHEL 5.2、5.3、5.4、6.4 および OEL 6.4

Solaris ゾーンでサポートされる Performance Manager の設定

Performance Manager は、Solaris 10 ネイティブゾーンのみでサポートされます。ゾーンに Performance Manager をインストールする場合、Performance Manager インストール用にサポートされる設定は、下記のみです。

```
SUNW_PKG_ALLZONES = false
```

```
SUNW_PKG_HOLLOW=false
```

```
SUNW_PKG_THISZONE=true
```

したがって、Performance Manager は、選択したグローバルゾーンまたは非グローバルゾーンにのみインストールされます。必要なゾーンでは、すべて手動でインストールする必要があります。インストールの方法は、「[インストールの手順](#)」(8ページ)を参照してください。

インストール要件

インストール中、HP Software インストーラが次のタスクを実行します。

- ご使用のシステムのディスク容量が要件を満たしているか確認します。ディスク容量の詳細は、「[ハードウェアの要件](#)」(5ページ)を参照してください。
- ご使用のシステムに他の HP ソフトウェア製品がインストールされているか確認します。
- ポートが使用されているか確認します。競合が生じた場合、ポート設定を変更するよう指示が出されます。
- 検出された事項の詳細ログを提供します。
- インストールしたコンポーネントのリストを表示します。

注: インストール中、デフォルトのポート番号 http (8081)、https (8444)、シャットダウン ポート (8006)、JK2-AJP 13 ポート (8010) が他のアプリケーションにより使用されている場合、HP インストーラがこれを検出します。これらのポートのうちいずれかが他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報: シャットダウン ポートは使用可能です。

情報: HTTP ポートは使用可能です。

警告: HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

Performance Manager のインストールは正常に終了しますが、デフォルトのポート番号を使用して Performance Manager にアクセスすることはできません。このような場合、Performance Manager にアクセスするには、http、https、シャットダウン、JK2-AJP 13 の各ポート設定を変更する必要があります。詳細については、『*HP Performance Manager 管理者ガイド*』を参照してください。

ハードウェアの要件

最適なパフォーマンスを得るには、1 GB 以上のメモリを推奨します。処理の遅いシステムやメモリの少ないシステムにインストールすると、パフォーマンスが遅くなる可能性があります。

ディスク領域

HP Performance Manager のインストールに必要なディスクの最低空き容量:

プラットフォーム	必要なディスク容量
HP-UX IPF	900 MB
Windows x86	350 MB
Windows x64	450 MB
Solaris	450 MB
Linux	350 MB

注: インストールのプロセス中、インストーラが必要なディスク容量を表示します。ただし、インストーラによって表示される値は不正確で、実際に必要なディスク容量よりはるかに少ない容量が表示されます。システムの実際のディスク容量が、ここに指定された必要容量よりも少ない場合、インストールは失敗します。

メモリの要件

1 GB 以上の物理メモリクラスタ環境の場合、クラスタの各ノードに 1 GB の物理メモリがあります。

注: 適切なパフォーマンスを得るには、2 GB 以上の物理メモリを推奨します。

サポートされたブラウザ

Performance Manager にアクセスするのに必要な Web ブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティングシステム	サポートされたブラウザ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none">Firefox 3.5.x および 3.6Internet Explorer 7、8、9、10 および 11Safari 5.1.7
HP-UX	Firefox 3.0.x
Sun Solaris	Firefox 3.5.x
Linux	Firefox 3.5.x、10.0.5 および 10.0.12

注:

- Safari 6.1.3 もサポートされています。
- ビルド バージョン 11.0.9600.16476 以降は、Internet Explorer 11 でサポートされています。

Performance Manager ホーム ページを表示するには、Adobe® Flash Player 13.0.x をインストールし、信頼済みサイトのリストに Performance Manager を追加して Internet Explorer (IE) または Mozilla Firefox ブラウザの JavaScript サポートを有効にします。詳細については、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

Java 実行環境 (JRE) の要件

HP-UX

デフォルトの HP-UX 設定 (特にカーネルパラメータおよびシステム調節値) は、一部の Java アプリケーションに対応していません。通常手動で調整が必要なアプリケーションは、実行時間が長く、大量のスレッドを有し、Performance Manager のように、サーバー接続するクライアントの割合が高い、大規模なサーバーサイド Java アプリケーションです。スタンドアロンのバンドルである Java Out-of-Box (JOOB) のインストールを解決する方法。JOOB は、スタートアップ (RC) スクリプトをインストールし、カーネルパラメータを変更し、カーネルを再構築し、システムを再起動します。スタートアップ中に、スタートアップスクリプトがシステム調節値を修正するため、Java は良いサンプル動作で起動できます。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/java2/outofbox/index.html>

HP-UX システム用パッチの詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/patches/index.html>

Windows

Windows システムに Performance Manager をインストールする前に、次に示すパッチ (またはその更新版) をシステムに適用してください。

Java 実行環境 (JRE) バージョン 1.7 以降の対応に必要なパッチ	
Windows 2003	Windows Scripting Host バージョン 5.6、C++ ライブラリ msvc60.dll

Windows システムのパッチの詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com>

言語のオプション

Performance Manager 9.20 には、英語版、日本語版、および簡体字中国語版が用意されています。ローカライズでは、ユーザー インターフェイスの各要素、Web ページ、ログファイルが、英語、日本語、簡体字中国語に翻訳されています。オンラインヘルプとユーザー マニュアルは、英語と日本語に翻訳されています。

Performance Manager をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示されます。英語とシステムロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、[English] オプションのみが表示されます。

例: 日本語のロケールでは、[日本語] または [English] を選択できます。

第3章: インストールの手順

注: ご使用のシステムに Performance Manager 9.20 をインストールするには、Windows システムの場合は管理者として、HP-UX、Solaris、Linux システムの場合はルート ユーザーとしてログオンする必要があります。

OvTomcatB が他の HP ソフトウェア製品によってインストールされている場合は、Performance Manager のインストール前に、OvTomcatb が非特権モードで実行 (つまり HP-UX、Solaris、および Linux システムの場合はルート ユーザー権限なしで、Windows システムの場合は管理者権限なしで実行) されるように設定されていないことを、確認してください。OvTomcatB が非特権モードで実行されるように設定されている場合、ルート ユーザーまたは管理者のみが OvTomcatB を実行できるように設定を修正します。

Performance Manager を Windows、HP-UX、Solaris、および Linux システムにインストールするには、以下のセクションで説明する手順を実行します。

- [「Performance Manager の Windows へのインストール」\(9ページ\)](#) を参照
- [「HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール」\(12ページ\)](#) を参照

注: インストール中、デフォルトのポート番号 http (8081)、https (8444)、シャットダウン ポート (8006)、JK2-AJP 13 ポート (8010) が他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報: シャットダウン ポートは使用可能です。

情報: HTTP ポートは使用可能です。

警告: HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

この場合、Performance Manager のインストールは正常に終了しますが、デフォルトのポート番号を使用して Performance Manager にアクセスすることはできません。Performance Manager にアクセスするには、http、https、シャットダウン、JK2-AJP 13 の各ポート設定を変更する必要があります。詳細については、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

HP Reporter 3.70 から Reporter 3.80 にアップグレードした場合、Graphing Component (GC) 4.x はシステムから削除されません。同じシステムに Performance Manager 9.20 をインストールしようとする、GC 4.x をアンインストールするよう、インストーラから指示されます。GC 4.x をアンインストールするには、下記のコマンドをコマンド プロンプトで実行します。

```
msiexec /x {90605306-2C02-4D00-ADD1-A3D0F1573EAA} /qb
```

ただし、ご使用のシステムに Operations Manager for Windows 7.5 がインストールされており、これを Operations Manager for Windows 8.16 にアップグレードした場合、GC 4.x はご使用のシステムから自動的に削除されます。

注: Performance Manager をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示されます。英語とシステムロケールが設定されている言語から選択す

る、オプションがあります。英語のロケールでは、[English] オプションのみが表示されます。

Performance Manager の Windows へのインストール

Windows システムに Performance Manager をインストールするには、以下のいずれかの手順を実行します。

- 「サポート付きインストール」(9ページ)
- 「サポートなしインストール」(11ページ)

注: Performance Manager を Windows x64 にインストールする場合は、必ず x64 用のインストーラを選択してください。対応する部品番号については、『リリースノート』を参照してください。

サポート付きインストール

サポート付きインストールを実行するには:

1. Windows 用の HP Performance Manager CD/DVD メディアを、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール用ホームページが表示されます。
2. [HP Performance Manager をインストール] をクリックします。

または

自動実行が有効になっていない場合、CD/DVD-ROM ドライブから `index.htm` をダブルクリックします。

HP Performance Manager インストールウィザードが表示されます。

注: ご使用の Windows システムに Performance Manager を初めてインストールする場合は、インストール用パラメータが指定された `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがご使用のシステムで `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、このファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、[はい] をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、[いいえ] をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。 `ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語のいずれかの言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようインストーラから指示されます。システムロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システムロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには [English] のみが表示されます。

3. インストールウィザードで、**[次へ]** をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。
4. ライセンス契約の条件を読み、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。

注: ご使用のシステムに他の HP Software 製品がインストールされている場合、インストールウィザードにより、当該製品のアプリケーションフォルダパスおよびデータフォルダパスが、Performance Manager のインストール用デフォルトディレクトリとして表示されます。他の HP 製品がインストールされていない状態で、Performance Manager を初めてインストールする場合、以下のディレクトリのフォルダパスを指定します。

- a. プログラムファイルを保管したいアプリケーションフォルダパスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーションディレクトリは `C:\Program Files\HP\HP BTO Software` です。
- b. ログファイルなどのデータファイルを保管したいデータフォルダパスまたはディレクトリ。Windows 2003 では、デフォルトのデータディレクトリは `C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software` です。Windows 2008 では、デフォルトのデータディレクトリは `C:\ProgramData\HP\HP BTO Software` です。

5. **[次へ]** をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
6. **[インストール]** をクリックします。

注: 既にインストール済みのコンポーネントがある場合、インストール中に [既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェックボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]** チェックボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]** チェックボックスをオフにし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされない

ようにします。チェックボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

注: インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のインストールを開始すると、インストーラから、Performance Manager のインストール再開またはアンインストールのどちらを実行するのか、確認を求められます。

7. [詳細] タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開して、Performance Manager と他の HP 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
8. ご使用のシステムのログファイルを表示するには、[ログファイルを表示します] をクリックします。
9. インストールを完了するには、[完了] をクリックします。デスクトップに Performance Manager アイコンが作成されます。Performance Manager を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。HP Performance Manager ホーム ページが表示されます。

注: システムを再起動する必要がある場合、メッセージ「システム設定の変更を有効にするには、システムを再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」が表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

サポートなしインストール

注: サポートなしインストールでは、システムの temporary ディレクトリに ovininstallparams.ini ファイルがある場合、インストーラはこの値をデフォルト値として使用します。インストールを開始する前に、このファイルが使用できるか確認してください。このファイルを変更したい場合、インストール前に修正してください。

サポートなしインストールを実行するには:

1. Windows コマンド プロンプトを開き、次に示すように HPOvPM_9.20.000_setup.exe ファイルが保存されているドライブに移動します。

<drive>:

ここで、drive は、Performance Manager ファイルが含まれている CD/DVD-ROM ドライブです。

2. コマンド プロンプトに次の構文を入力します。

```
HPOvPM_9.20.000_setup.exe -i silent
```

注: インストールプロセスが、バックグラウンドで実行されます。[Windows タスク マネージャ] -> [プロセス] を開くと、プロセスの一覧に HPOvPM_9.20.000_setup.exe が含まれていることを確認できます。<temp_directory>\HPOvInstaller ディレクトリ内に作成されるログファイル <temp_directory>\HPOvPM_9.20.000_HPOvInstaller と <temp_directory>\HPOvInstaller\PerfUtil-mm-dd-yyyy.log をチェックして、インストールが完了したかどうかを確認することもできます。

ここで、<temp_directory> は、システムの temporary ディレクトリを指します。

HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール

HP-UX、Solaris、または Linux システムに HP Performance Manager をインストールするには、以下のいずれかの手順を実行します。

- [「サポート付きインストール」\(12ページ\)](#)
- [「サポートなしインストール」\(15ページ\)](#)

サポート付きインストール

HP Performance Manager は、グラフィカル インターフェイスまたはコマンド ライン インターフェイスにより、ご使用の HP-UX、Solaris、または Linux システムにインストールできます。

グラフィカル インターフェイスによる HP Performance Manager のインストール

X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をインストールするには、以下の手順を実行します。

1. root ユーザーとしてログインします。
2. HP Performance Manager 9.20 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
3. インストール開始にあたり、X11 ターミナル ウィンドウを使用するには、DISPLAY 変数をエクスポートし X11 ターミナルをポイントするようにします。これには、次のコマンドを入力します。

```
export DISPLAY=<IP_Address/system_name>:0.0
```

4. 次のように入力します。

```
<CD/DVD-ROM> HPOvPM_9.20.000_setup.bin
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。このウィンドウには、導入メッセージが表示されます。

注: ご使用の HP-UX、Solaris、または Linux システムに Performance Manager を初めてインストールする場合は、インストール用パラメータが指定された `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP インストーラが `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがご使用のシステムで `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、このファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**[はい]** をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**[いいえ]** をクリックします。

HP インストーラがファイルを検出できない場合は、システムにデフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。 `ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語のいずれかの言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようインストーラから指示されます。システムロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システムロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには **[English]** のみが表示されます。

5. HP Performance Manager インストール ウィザードで、**[次へ]** をクリックします。**[ライセンス契約]** 画面が表示されます。
6. ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、**[ライセンス契約の条項に同意します]** オプションを選択します。インストール ウィザードがインストールチェックを実行します。
7. **[次へ]** をクリックします。**[プレインストールの概要]** 画面が表示されます。画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
8. **[インストール]** をクリックします。

注: インストール中、**[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]** チェックボックスが表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]** チェックボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]** チェックボックスをクリアし、選択した HP Software コンポーネントが規定どおりに再インス

インストールされないようにします。チェックボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェアコンポーネントは変更されません。

注: インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のインストールを開始すると、インストーラから、Performance Manager のインストール再開またはアンインストールのどちらを実行するのか、確認を求められます。

9. [詳細] タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開し、コンポーネントのリストを表示します。
10. ご使用のシステムのログファイルを表示するには、[ログファイルを表示します] をクリックします。
11. インストールを完了するには、[完了] をクリックします。

注: システムを再起動する必要がある場合、メッセージ「システム設定の変更を有効にするには、システムを再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」が表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

コマンドライン インターフェイスによる HP Performance Manager のインストール

コマンドライン インターフェイスを使用して Performance Manager をインストールするには次の手順を実行します。

1. root ユーザーとしてログインします。
2. HP Performance Manager 9.20 CD/DVD-ROM メディアを CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
3. 以下のコマンドを実行します。

- Performance Manager をスタンドアロン システムにインストールする場合:

```
<CD/DVDROM_mount>/HPOvPM_9.20.000_setup.bin -i console
```

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語のいずれかの言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようインストーラから指示されます。システムロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システムロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには [English] のみが表示されます。

4. ライセンス情報について、プロンプト「ライセンス契約の条項に同意します」が表示されたら、「Y」と入力して条件に同意し、インストールを続けます。インストーラが、すべてのインストール要件を確認します。

5. 続行するには、**Enter** をクリックします。プレインストールの概要が表示されます。
6. 続行するには、**Enter** をクリックします。

インストールが完了すると、インストールが正常に終了したという内容のメッセージが送られます。

サポートなしインストール

サポートなしインストールを実行するには:

1. root ユーザーとしてログインします。
2. HP Performance Manager 9.20 CD/DVD-ROM メディアを CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
3. 次の構文をコマンド プロンプトに入力します。

```
HPOvPM_9.20.000_setup.bin -i silent.
```

注: インストーラが、稼働中の HP Performance Manager のインストールを検出した場合、`-i silent` コマンドを実行すると HP Performance Manager はアンインストールされます。インストールが検出されない場合は、Performance Manager がインストールされます。

4. インストールを検証するには、ログファイルを確認します。

インストール結果

インストールが正常に行われた場合:

- HP-UX、Solaris、および Linux システム上では、アプリケーション ディレクトリパスおよびデータ ディレクトリパスが表示されます。
- インストールが終了したら、`/var/tmp/HPOvPM-9.20.000_HPOvInstaller.txt` ファイルと `/var/tmp/HPOvInstaller/PerfUtil-mm-dd-yyyy.log.0` ファイルを参照して、インストール中に何か問題が発生していないか確認してください。

この場合、`mm` は月を、`dd` は日を、`yyyy` は年を示します。ファイル名は、最後にインストールが実行されたときのタイムスタンプを示します。

インストール ディレクトリのプログラム ファイルで指定した場所から、HP Performance Manager のドキュメントを使用できます。HP Performance Manager のすべてのドキュメントの一覧については、「[関連ドキュメント](#)」(35ページ) を参照してください。

注: Performance Manager をインストールするか、最新バージョンにアップグレードすると、`/var/opt/OV/shared/server/conf/perf/` ディレクトリに存在する `OvPMconfig.ini` ファイルと `OvPMUsers.xml` ファイルに、次のうち 1 つまたは複数のメッセージが適宜出力されます。

- Performance Manager 9.20 を初めてインストールした場合は、次のメッセージが出力されません。Performance Manager Version 09.20.000.
- Performance Manager バージョン 8.20 からアップグレードした場合は、次のメッセージが出力されません。Upgraded to Performance Manager Version 09.20.000.

Performance Manager ライセンス キーのインストール

Performance Manager を使用するには、ライセンスキーが必要です。Performance Manager をインストールして初めて使用する場合は、60 日間有効な試用ライセンス (別名: インスタント オン ライセンス) が付与されます。製品の使用を継続するには、この60日の試用期間内に、正式なライセンスキーを取得するか、試用期間を延長する必要があります。

注: Performance Manager バージョン 8.20 を 60 日間有効な試用ライセンス (別名: インスタント オン ライセンス) で使用しており、試用ライセンスの有効期限が切れる前に Performance Manager バージョン 9.20 にアップグレードすると、バージョン 9.20 は 60 日間有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。たとえば、Performance Manager バージョン 8.20 を 60 日間の試用ライセンスで使用しており、15 日後にバージョン 9.20 にアップグレードした場合、Performance Manager 9.20 は 60 日間有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。

正式なライセンスを取得するには、次のオプションのうち 1 つを行います。

Web サイト www.webware.hp.com から、正式なライセンスまたは試用ライセンスの延長を要求する。電子メールまたはインターネット接続により、ライセンスキーが提供されます。

ライセンス キーを確認し、インストールするには、以下のステップに従います。

1. 下記のコマンドをコマンド プロンプトで実行します。

```
<bin_dir>\ovpm license
```

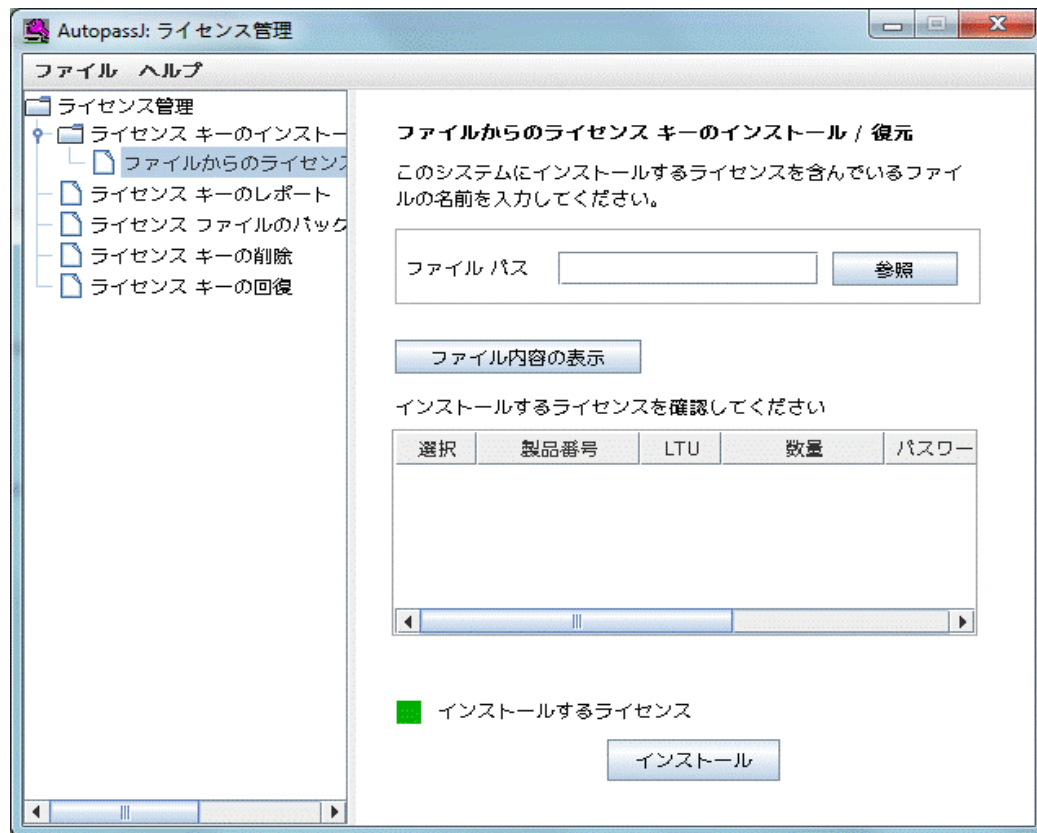
ご使用の Performance Manager ライセンスの状態が表示された後、コマンド ラインプロンプト「License Command>」が表示されます。

注: HP-UX、Solaris、および Linux システムでは、License Management GUI を適切な表示ウィンドウに送る DISPLAY 変数をエクスポートしてから、ovpm license コマンドを実行します。

Performance Manager を試用ライセンスで実行している場合は、メッセージ「インスタント オン:Yes」、ライセンス有効期限、ライセンス有効期限までの残り日数が表示されます。

正式な製品ライセンスが既にインストールされている場合、メッセージ「HP Performance Manager には、永久ライセンスがあります。」が表示されます。

2. コマンド gui を License Command> コマンド プロンプト で実行します。[AutoPass:ライセンス管理] ユーザー インターフェイスが表示されます。



3. [AutoPass:ライセンス管理] ウィンドウに以下のオプションが表示されます。ご希望の要件に合ったオプションを選択してください。

- ライセンス キーのインストール

- ライセンス キーの取得 / インストール - このオプションは、インターネット接続を使用してご使用の HP ソフトウェア製品のライセンス キーを取得するために、使用します。
- ファイルからのライセンス キーのインストール / 復元 - このオプションは、ASCII テキスト ファイルからライセンス キーをインストールするために、使用します。
- 電子メール / FAX によるライセンス キーの要求 - このオプションは、HP 注文番号を使用してライセンス キーを要求するために、使用します。

4. 上記のオプションのうち1つをクリックし、次の手順に従います。詳細については、『HP Autopass オンラインヘルプ』を参照してください。

または、ASCII テキスト ファイルでライセンス キーをお持ちの場合、以下のコマンド ライン オプションを実行して、同様にインストールできます。

1. 下記のコマンドを入力します。

```
<bin_dir>\ovpm license
```

ライセンスコマンド プロンプトが表示されます。

2. 以下のコマンドを実行します。

```
License Command> install
```

3. 入力ファイル名を入力するように求めるメッセージが表示されます。

4. テキスト ファイルの名前を、パス全体と共に入力します。

ライセンスのインストールが終了すると、確認メッセージを受信します。

注: 以下は、[Autopass:ライセンス管理] ユーザー インターフェイスで使用可能な他のオプションです。詳細については、『HP Autopass オンラインヘルプ』を参照してください。

- ライセンス キーのレポート - このオプションは、インストールされている製品 ライセンスのリストを表示するために、使用します。
- ライセンス ファイルのバックアップ - このオプションは、ファイルにライセンス キーのバックアップを取るために、使用します。
- ライセンス キーの削除 - このオプションは、インストールされているライセンスを削除するために、使用します。
- ライセンス キーの回復 - このオプションは、[ライセンス キーの削除] オプションを使用して削除したライセンスを追加するために、使用します。

HP Performance Manager の削除

Windows、HP-UX、Solaris、または Linux システムにインストールされた Performance Manager を削除するには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- [「HP Performance Manager の Windows からのアンインストール」\(19ページ\)](#)
- [「HP Performance Manager の HP-UX、Solaris、Linux からのアンインストール」\(20ページ\)](#)

HP Performance Manager の Windows からのアンインストール

Windows システムから HP Performance Manager をアンインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きアンインストール
- サポートなしアンインストール

サポート付きアンインストール

アンインストール ウィザードを使用して、Performance Manager をアンインストールするには:

1. HP Performance Manager が実行中の場合、停止します。
2. **スタート > 設定 > コントロール パネル**に進みます。
3. **[プログラムの追加と削除]** をダブルクリックします。
4. **[HP Performance Manager]** を選択します。
5. **[変更と削除]** をクリックして、アンインストールします。HP Performance Manager アンインストール ウィザードが表示されます。
6. **[アンインストール]** オプションを選択します。
7. **[次へ]** をクリックします。[プレアンインストールの概要] 画面が表示されます。
8. **[アンインストール]** をクリックします。ウィザードが Performance Manager のアンインストールを開始します。
9. アンインストールを完了するには、**[完了]** をクリックします。

サポートなしアンインストール

Performance Manager をコマンド プロンプトを使用してアンインストールするには:

1. Windows コマンド プロンプトを開き、以下に示すように、HP Performance Manager HPOvPM_9.20.000_setup.exe ファイルが保存されているドライブの名前を入力します。

```
<drive>:
```

この場合、drive は Performance Manager ファイルの場所となります。

2. 以下のコマンドを実行します。

```
<drive>/HPOvPM_9.20.000_setup.exe -i silent
```

HP Performance Manager の HP-UX、Solaris、Linux からのアンインストール

1. root ユーザーとしてログオンします。
2. ディレクトリ /opt/OV/Uninstall/HPOvPM に移動します。
3. アンインストールを実行します。
 - X11 インターフェイスを使用するには、必要に応じて DISPLAY 変数をエクスポートし、X11 ターミナルをポイントするようにします。次いで、コマンドを実行します。

```
./setup.bin
```

- コマンド ライン インターフェイスを使用する場合、次記のコマンドを実行します。

```
./setup.bin -i console
```

- サイレント アンインストールを実行するには、次のコマンドを実行します。

```
./setup.bin -i silent
```

4. **Uninstall** を選択します。

注: サイレント アンインストールではこの手順は行いません。

設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除

Performance Manager を削除しただけでは、設定ファイルやユーザー グラフ テンプレートは削除されません。データ ディレクトリからファイルを手動で削除する必要があります。

クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除

Performance Manager コンポーネント削除の後、次のクリーンアップ スクリプトを実行する必要があります。このスクリプトは <install_dir>\support から入手できます。

Windows 用の clnup_ovpm.bat

UNIX 用の clnup_ovpm.sh

クリーンアップ スクリプトは、以下のファイルを <PM_data_dir>\conf\perf から削除します。

- OVPMconfig.ini
- OVPMUsers.xml
- OVPMSystems.xml

- ovpm.tcf
- VPI_GraphsUserFavorites.txt
- OVPMReportTemplate.htm
- 「VPI_」で名前が始まるすべてのフォルダ。

第4章: Performance Manager 9.20 へのアップグレード

お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、Performance Manager バージョン 9.20 にアップグレードする前に、お使いのシステムで、Windows 用 HPOM のバージョンが 9.00 以降、UNIX 用 HPOM のバージョンが 9.00 以降であることを確認してください。

注:

1. <install_dir>/newconfig ディレクトリの内容を変更した場合、アップグレード中に HP インストーラによってファイルが上書きされるため、Performance Manager 9.20 へのアップグレード前に <install_dir>/newconfig ディレクトリにある VPI_Graphs テンプレート ファイルを、別の場所に保存することをお勧めします。
2. 古いバージョンの Performance Manager (5.X、6.X および 8.00) からバージョン 9.20 に、直接アップグレードすることはできません。古いバージョンの Performance Manager からバージョン 9.20 にアップグレードする場合は、まずバージョン 8.20 にアップグレードし、その後バージョン 9.20 にアップグレードします。その方法については、HP Performance Manager インストールおよびアップグレードガイド、バージョン 8.20 を参照してください。
3. Performance Manager バージョン 8.20 を 60 日間有効な試用ライセンス (別名: インスタントオンラインライセンス) で使用しており、試用ライセンスの有効期限が切れる前に Performance Manager バージョン 9.20 にアップグレードする場合、バージョン 9.20 は 60 日間有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。たとえば、Performance Manager バージョン 8.20 を 60 日間有効な試用ライセンスで使用しており、15 日後に Performance Manager バージョン 9.20 にアップグレードした場合、バージョン 9.20 は 60 日間有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。Performance Manager のライセンスの詳細については [「Performance Manager ライセンス キーのインストール」\(16ページ\)](#) を参照してください。

注: Performance Manager バージョン 8.20 から 9.20 にアップグレードすると、そのまま使用できるグラフの構成が変更されます。そのまま使用できるパフォーマンスグラフテンプレートのファミリー名が、パフォーマンス履歴からシステムインフラストラクチャに変更されています。グラフテンプレートは、新しいカテゴリに再構成されています。新しいグラフテンプレートとカテゴリが追加されています。そのまま使用できるグラフテンプレートの新しいアーキテクチャの詳細については、『HP Performance Manager チュートリアル』を参照してください。

注: Performance Manager ユーザー インターフェイスでそのまま使用できるグラフテンプレートの以前のアーキテクチャを表示する場合は、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

Performance Manager バージョン 8.20 または 9.00 からのアップグレード

HP インストーラは、お使いのシステムに Performance Manager 8.20 または 9.00 を検出すると、Performance Manager 9.20 にアップグレードします。

注: Performance Manager 8.20 は Linux では使用できません。ただし、Performance Manager 8.21 は Linux で使用できます。

Windows での Performance Manager 9.20 へのアップグレード

Performance Manager 9.20 にアップグレードするには:

1. HP Performance Manager 9.20 CD/DVD for Windows を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。
2. **[HP Performance Manager をインストール]** をクリックします。

または

CD/DVD-ROM ドライブで、`HP0vPM_9.20.000_setup.exe` をダブルクリックします。HP Performance Manager インストール ウィザードに、メディア ファイルおよびログ ファイルの場所が表示されます。

3. **[次へ]** をクリックします。**[ライセンス契約]** 画面が表示されます。
4. ライセンス契約の条件を読み、**[ライセンス契約の条項に同意します]** オプションを選択します。
5. **[次へ]** をクリックします。インストーラが、インストール要件を確認します。インストール要件の確認が終了したら、**[次へ]** をクリックします。**[プレインストールの概要]** 画面が表示されます。この画面には、Performance Manager とともにインストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
6. **[アップグレード]** をクリックします。
7. **[詳細]** タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開し、コンポーネントのリストを表示します。
8. アップグレード作業を完了するには、**[完了]** をクリックします。Performance Manager バージョン 8.20 または 9.00 が Performance Manager 9.20 にアップグレードされ、デスクトップ アイコンも作成されます。Performance Manager を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。HP Performance Manager ホーム ページが表示されます。

HP-UX、Solaris、Linux での Performance Manager 9.20 へのアップグレード

Performance Manager をコマンド ライン インターフェイスでアップ グレードするには:

1. root ユーザーとしてログインします。
2. HP Performance Manager 9.20 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
3. 以下のコマンドを実行します。

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_9.20.000_setup.bin -i console
```
4. インストーラからインストールを継続する指示が出されたら、**Enter** キーを押します。ライセンス情報について、「ライセンス契約の条項に同意します」というプロンプトが表示されます。
5. 条件に同意し、インストールを続けるには、**Y** を入力します。インストーラによって、ご使用のシステムがインストール要件を満たしているか確認されます。
6. インストールを続けるには、**Enter** キーを押します。プレインストールの概要に、インストールするアプリケーションの名前およびバージョン、アプリケーション ディレクトリ、データ ディレクトリパスなどの情報が表示されます。
7. インストールを続けるには、**Enter** キーを押します。

X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をアップグレードするには:

1. root ユーザーとしてログインします。
2. HP Performance Manager 9.20 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
3. DISPLAY 変数をエクスポートし、X11 ターミナルをポイントするようにします。
4. 以下のコマンドを実行します。

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_9.20.000_setup.bin
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。[ライセンス契約] 画面が表示されます。
5. ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、[ライセンス契約の条項に同意します] オプションを選択します。

6. **[次へ]** をクリックします。[プレインストールの概要] 画面が表示されます。画面には、アップグレードされるコンポーネントのリストが表示されます。
7. **[アップグレード]** をクリックします。

注: インストール中、既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェックボックスが、表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]**
チェックボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]**
チェックボックスをクリアし、選択した HP Software コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェックボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェアコンポーネントは変更されません。

注: アップグレードが失敗した場合、元に戻るか、アップグレードを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、アップグレードが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のアップグレードを開始すると、インストーラから、Performance Manager のアップグレード再開またはアンインストールのどちらを実行するかを、確認する指示が出ます。

8. **[詳細]** タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開し、コンポーネントのリストを表示します。
9. ご使用のシステムのログファイルを表示するには、**[ログファイルを表示します]** をクリックします。
10. インストールを完了するには、**[完了]** をクリックします。

アップグレード結果

アップグレードが正常に行われた場合:

- HP-UX、Solaris、および Linux システム上では、アプリケーション ディレクトリパスおよびデータ ディレクトリパスが表示されます。
- Windows システム上では、HP\HP BTO Software\Performance Manager フォルダが Windows システムの **[スタート] > [プログラム]** メニューに追加されます。
- アップグレード後に関連するログファイルは <temp_directory>/HP0vInstaller ディレクトリにあります。ログファイルには、適切なメッセージも含まれます。ログファイルのファイル名の形式は、PerfUtil-MM-dd-yyyy.log.0 です。

この場合、MM は月を、dd は日を、yyyy は年を示します。ファイル名は、最後にアップグレードが実行されたときのタイムスタンプを示します。

インストールディレクトリのプログラムファイルで指定した場所から、HP Performance Manager ドキュメントを使用できます。HP Performance Manager のすべてのドキュメントの一覧については、「[関連ドキュメント](#)」(35ページ)を参照してください。

注: Performance Manager をインストールするか、最新バージョンにアップグレードすると、OVPMconfig.ini ファイルと OVPMUsers.xml ファイルに、次のうち 1 つまたは複数のメッセージが適宜出力されます。

- Performance Manager 9.20 を初めてインストールした場合は、次のメッセージが出力されません。Performance Manager Version 09.20.000..
- Performance Manager 8.20 または 9.00 からアップグレードした場合、次のメッセージが出力されます。Upgraded to Performance Manager Version 09.20.000.

第5章: Performance Manager のクラスタ環境でのインストール

Performance Manager を Windows、HP-UX、Solaris、および Linux のクラスタ環境にインストールするには、次のセクションに示した手順に従います。HP Performance Manager インストール ウィザードは、クラスタ環境を検出することができません。

- 「Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール」(29ページ)を参照
- 「HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール」(32ページ)を参照

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) for Windows または for UNIX を使用する場合、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定しておく必要があります。

クラスタ用語

リソースグループ

VERITAS クラスタ、Sun クラスタ、MC/ServiceGuard などのクラスタ環境では、アプリケーションは複合リソースとして示されます。リソースを集めたリソースグループは、クラスタ環境で実行されるアプリケーションを示します。

リソースグループの用語は、クラスタ環境により異なります。異なるクラスタ環境での用語リストについては、「表 1 クラスタ環境のリソースグループ」(27ページ)を参照してください。本マニュアルでは、クラスタ環境のリソースグループを指す一般的な用語として、クラスタ固有の用語の代わりに高可用性 (HA) リソースグループが使用されています。Performance Manager はクラスタ指向であり、専用リソースグループが必要となります。

表 1 クラスタ環境のリソースグループ

クラスタ環境	略語	HA リソースグループの指す内容
MC ServiceGuard	MC/SG	パッケージ
VERITAS クラスタ サーバー	VCS	サービスグループ
Sun クラスタ	SC	リソースグループ
Microsoft サーバー クラスタ	MSCS	リソースグループ

注:

- ご使用のシステムに HPOM がインストールされている場合、Performance Manager を同じリソースグループに設定する必要があります。

- ご使用のシステムに Performance Manager と Reporter がインストールされている場合、Performance Manager と Reporter の両方に同じリソースグループを設定しても、別々のリソースグループを設定しても構いません。

システム要件

Performance Manager をインストールする前に、クラスタの各ノードについて「[インストール要件](#)」(4 ページ) が満たされていることを確認してください。

Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件

Performance Manager にクラスタ設定をするには、次のリソースが使用可能か確認してください。

- 最低 2 つのノード サーバー クラスタ
- Performance Manager 設定ファイル保存用の共有ディスク
- クラスタの仮想サーバー名を解決する最低 1 つの専用静的 IP アドレス

インストール前に

システムに HP Operations Manager がインストールされていない場合、Performance Manager をクラスタ環境でインストールする前に、データディレクトリのファイルシステムを準備する必要があります。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- 「[Windows ノードのデータディレクトリのファイルシステムの準備](#)」(29 ページ) を参照。
- 「[HP-UX、Solaris、および Linux の各ノードのデータディレクトリのファイルシステムの準備](#)」(32 ページ) を参照。

HP Operations Manager がクラスタ環境でインストールされている場合、ファイルシステムを準備する必要はありません。そのまま、インストールを進めることができます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- 「[Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール](#)」(29 ページ) を参照。
- 「[HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール](#)」(32 ページ) を参照。

注: 同じクラスタの複数のノードで、同時にインストールを開始しないでください。Performance Manager を、同時に複数のノードにインストールすることはできません。

Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに Performance Manager をインストールする必要があります。クラスタシステムに Performance Manager 9.20 をインストールするには、以下のタスクを実行します。

HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする場合

1. インストール方法については、「[Performance Manager の Windows へのインストール](#)」(9ページ)を参照してください。設定を変更しないでください。
2. [ステップ 9](#)に進みます。

HPOM がインストールされていないノードに Performance Manager をインストールする場合

ファイルシステムを準備する必要があります。詳細については、「[Windows ノードのデータディレクトリのファイルシステムの準備](#)」(29ページ)を参照してください。ファイルシステムを準備した後、インストールを進めます。インストールの方法については、「[Windows でのファイルシステム準備後のインストール手順](#)」(29ページ)を参照してください。

Windows ノードのデータディレクトリのファイルシステムの準備

1. クラスタの共有ドライブでの `<PM_data_dir>` の位置を特定します。
2. ディレクトリ構造を作成します。例: データディレクトリとして `R:\HP` を使用する場合は、共有されたクラスタドライブに完全なディレクトリ構造 `R:\HP\<data_dir>` を作成します。

Windows でのファイルシステム準備後のインストール手順

データディレクトリのファイルシステムを準備したあと、Performance Manager をインストールするため、以下のタスクを実行します。

1. 以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
HP0vPM_9.20.00_setup.exe
```

HP Performance Manager インストールウィザードが表示されます。

注: Performance Manager をご使用の Windows システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがご使用のシステムで `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、このファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合、**[はい]** をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**[いいえ]** をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。`ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語、日本語、簡体字中国語のいずれかの言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようインストーラから指示されます。システムロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システムロケールが他の言語に設定されている場合、インストーラには **[English]** のみが表示されます。

2. インストールウィザードで、**[次へ]** をクリックします。**[ライセンス契約]** 画面が表示されます。
3. ライセンス契約の条件を読み、**[ライセンス契約の条項に同意します]** オプションを選択します。

注: ご使用のシステムに他の HP Software 製品がインストールされている場合、インストールウィザードにより、該当製品のアプリケーションフォルダパスおよびデータフォルダパスが、Performance Manager のインストール用デフォルトディレクトリとして表示されます。他の HP 製品がインストールされておらず、Performance Manager を初めてインストールする場合、次のディレクトリのフォルダパスを指定します。

- a. プログラムファイルを保管したいアプリケーションフォルダパスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーションディレクトリは `C:\Program Files\HP\HP BTO Software` です。
- b. ログファイルなどのデータファイルを保管したいデータフォルダパスまたはディレクトリ。Windows 2003 では、デフォルトのデータディレクトリは `C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software` です。Windows 2008 では、デフォルトのデータディレクトリは `C:\ProgramData\HP\HP BTO Software` です。

4. **[次へ]** をクリックします。**[プレインストールの概要]** 画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
5. **[インストール]** をクリックします。

注: 既にインストール済みのコンポーネントがある場合、インストール中に [既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います] チェックボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]**
チェックボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- **[既にインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います]**
チェックボックスをオフにし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェックボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

注: インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。[ロールバック] オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。[終了] をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のインストールを開始すると、インストーラから、Performance Manager のインストール再開またはアンインストールの、どちらを実行するかを確認する指示が出ます。

6. **[詳細]** タブをクリックし、コンポーネント ツリーを展開して、Performance Manager と他の HP 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
7. ご使用のシステムのログファイルを表示するには、**[ログファイルを表示します]** をクリックします。
8. インストールを完了するには、**[完了]** をクリックします。デスクトップに Performance Manager アイコンが作成されます。Performance Manager を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。HP Performance Manager ホーム ページが表示されます。

注: システムを再起動する必要がある場合、メッセージ「システム設定の変更を有効にするには、システムを再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」が表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

9. インストールを確認する方法については、**[インストール結果](15ページ)** を参照してください。
10. Performance Manager のホームページに、ブラウザからアクセスできることを確認してください。URL に、ノードの名前または IP アドレスを指定します。

例: `http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM`

11. Performance Manager を停止するため、次の構文をコマンド プロンプトに入力します。

```
ovc -stop ovtomcatB
```

12. 次のノードに共有ドライブを含むリソースグループを移動します。
13. クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。

14. クラスタ内のすべてのノードについて、手順 1 から 手順 11 を繰り返します。
15. Performance Manager のインストールが完了したら、すべてのノードで Performance Manager を開始します。次の構文をコマンド プロンプトに入力します。

```
ovc -start ovtomcatB
```

16. すべてのノードに Performance Manager がインストールされた後、ブラウザから Performance Manager ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

構文:

```
http://<clustername>:8081/OVPM
```

```
http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM
```

デスクトップ上の Performance Manager アイコンをクリックして Performance Manager を開く場合、ショートカットを修正し、クラスタ名または IP アドレスをポイントするようにする必要があります。デフォルトのショートカットは、物理ノードの名前または IP アドレスをポイントします。

注: Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

HP-UX、Solaris、および Linux の各ノードのデータ ディレクトリのファイルシステムの準備

データ ディレクトリのファイルシステムを準備するには、次のステップに従います。

1. ディレクトリ <OVDataDir>/shared/server を作成します。デフォルトのデータ ディレクトリ (OVDataDir) は:/var/opt/OV/conf/perf です。別のディレクトリを指定することはできません。
2. 共有ドライブのマウント ポイントの準備:

```
/var/opt/OV/shared/server
```

マウント ポイントには必ず root ユーザーによる「書き込み」権限があるようにします。ファイルシステムにマウントした後、インストールを進めます。

HP-UX、Solaris、または Linux クラスタでの Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに Performance Manager をインストールする必要があります。クラスタシステムに Performance Manager 9.20 をインストールするには、以下のタスクを実行します。

1. Performance Manager を HPOM がインストールされているノードにインストールする場合、[手順 2](#) へ進みます。Performance Manager を HPOM がインストールされていないノードにインストールする場合、データディレクトリのファイルシステムを準備する必要があります。ファイルシステムの準備方法については、「[HP-UX、Solaris、および Linux の各ノードのデータディレクトリのファイルシステムの準備](#)」(32ページ)のセクションを参照してください。
2. Performance Manager 9.20 をこのノードにインストールします。インストールの方法については、「[HP Performance Manager の HP-UX、Sun Solaris、Linux へのインストール](#)」(12ページ)を参照してください。設定を変更しないでください。
3. すべてのノードのインストールを確認する方法については、「[インストール結果](#)」(15ページ)を参照してください。
4. Performance Manager 9.20 のホームページに、ブラウザからアクセスできるか確認してください。URL に、クラスタの主なノード名または IP アドレスを指定します。

例: `http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM`

5. Performance Manager 9.20 を停止するため、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
ovc -stop ovtomcatB
```

6. 次のノードに共有ディスクを含むリソースグループを移動します。
7. クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。
8. クラスタ内のすべてのノードについて、[手順 1](#) から [手順 5](#) を繰り返します。

9. すべてのノードで Performance Manager のインストールが完了したら、すべてのノードで Performance Manager を開始します。次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
ovc -start ovtomcatB
```

10. すべてのノードに Performance Manager がインストールされた後、ブラウザから Performance Manager ホームページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

```
http://<clustername>:8081/OVPM
```

```
http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM
```

注: Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、『HP Performance Manager 管理者ガイド』を参照してください。

クラスタにインストールした Performance Manager を 9.20 へアップグレード

すべてのノードにインストールされている Performance Manager を、一度に1ノードずつ 9.20 にアップグレードできます。実行方法については、次のセクションで説明する手順を参照してください。
[「Performance Manager バージョン 8.20 または 9.00 からのアップグレード」](#)(23ページ)。

HP Performance Manager の削除

Performance Manager のアンインストール方法については、[「HP Performance Manager の削除」](#)(18ページ)を参照してください。Performance Manager をクラスタの最後のノードからアンインストールする際、最後のノードの共有ドライブが作動しているか確認してください。

関連ドキュメント

Performance Manager に関する情報は、複数のソースから入手することができます。Performance Manager 使用法の主な情報源として、コンテキスト依存のヘルプシステムをご利用いただけます。ご使用のシステムに Performance Manager をインストールすると、同時に、インストールガイドおよびリリースノートがインストールされます。

ドキュメント	場所	用途
コンテキスト依存のオンラインヘルプ	<ul style="list-style-type: none">Performance Manager ヘルプのドロップダウンメニューからご利用いただけます。コンテキスト依存ヘルプのページは、それぞれの画面に対応しており、画面およびダイアログボックス上でヘルプボタンをクリックすると表示されます。	<p>以下のタスクを行うためのユーザーガイド:</p> <ul style="list-style-type: none">すぐに使用できるサンプルテンプレートを使用した、さまざまな種類のグラフ作成インスタンス比較グラフ、システム比較グラフ、マルチソースグラフのデザイン既存のグラフ定義の編集、およびユーザー定義グラフとしての保存ドリルダウンで、必要な精度によるデータ表示お気に入りリストへのグラフの追加グラフの削除
チュートリアル	Performance Manager ヘルプのドロップダウンメニュー	Performance Manager の設定およびさまざまなタスクの実行を行うための、ステップごとの説明。
管理ガイド		データソースの設定、セキュア通信の設定、バッチパラメータの使用、顧客/ユーザー/ノードの管理などに関する情報の提供。
リリースノート		Performance Manager 9.20 リリースに関する情報の提供。

コンポーネント およびパッチ

Performance Manager の各バージョンのインストールパッケージから入手できるコンポーネントおよびパッチのリストを次の表に示します。

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
8.20	<ul style="list-style-type: none">• HPOvXpl-06.10.035• HPOvTomcatB-06.00.019• HPOvSecCo-06.10.015• HPOvSecCC-06.00.055• HPOvPM-08.20.000• HPOvLczC-06.10.010• HPOvLcko-06.10.010• HPOvLcja-06.10.010• HPOvJxpl-06.10.035• HPOvJsec-06.10.015• HPOvJREB-01.06.001• HPOvJPacc-10.50.120• HPOvJbbc-06.10.105• HPOvGC-08.20.000• HPOvCtrl-06.10.015• HPOvBbc-06.10.105

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
8.21 (Linux 版)	<ul style="list-style-type: none">• HPOvBbc - 06.10.105• HPOvJsec - 06.10.015• HPOvSecCC - 06.00.055• HPOvCtrl - 06.10.015• HPOvJxpl - 06.10.035• HPOvSecCo - 06.10.015• HPOvGC - 08.21.000• HPOvLcja - 06.10.010• HPOvTomcatB - 06.00.020• HPOvJbbc - 06.10.105• HPOvLcko - 06.10.010• HPOvXpl - 06.10.035• HPOvJPacc - 11.00.006• HPOvLczC - 06.10.010• HPOvJREB - 01.06.001• HPOvPM - 08.21.000

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
9.00	<ul style="list-style-type: none"> ● HPOvBbc - 11.00.043 ● HPOvJbbc - 11.00.043 ● HPOvCtrl - 11.00.043 ● HPOvJsec - 11.00.043 ● HPOvSecCo - 11.00.043 ● HPOvGC - 09.00.000 ● HPOvJxp - 11.00.043 ● HPOvXpl - 11.00.043 ● HPOvJPacc - 11.00.043 ● HPOvTomcatB - 06.00.029 ● HPOvJREB - 01.06.006 ● HPOvSecCC - 11.00.043 ● HPSpilnfG - 01.60.063 ● HPOvLic - 06.00.013 ● OvAgtLc - 11.00.043 ● HPOvPM - 09.00.000
9.20 (Windows 版)	<ul style="list-style-type: none"> ● HPSharedComp-11.13.007 ● HPOvJREB-01.07.025 ● HPOvGC-09.90.000 ● HPOvTomcatB-07.00.054 ● HPSpilnfG-11.11.030 ● HPOvPM-09.20.000

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
9.20 (HP-UX、Linux、Solaris)	<ul style="list-style-type: none">● HPOvBbc - 11.13.007● HPOvJbbc - 11.13.007● HPOvCtrl - 11.13.007● HPOvJsec - 11.13.007● HPOvSecCo - 11.13.007● HPOvJxp - 11.13.007● HPOvXpl - 11.13.007● HPOvJPacc - 11.13.007● HPOvSecCC - 11.13.007● HPOvAgtLc-11.13.007● HPOvJREB - 01.07.025● HPOvGC - 09.90.000● HPOvTomcatB - 07.00.054● HPSpilnfG - 11.11.030● HPOvPM - 09.20.000

パッチコマンド

サイト固有のパッチ

以下のコマンドを使用することで、Performance Manager 用のサイト固有のパッチ (ホットフィックス) を配備できます。

- `ovpm deploywar <location>` - Performance Manager の war ファイルの配備および展開を行います。このコマンドを使用する前に、詳細情報について、サイト固有のパッチに関連付けられた README ファイルを参照してください。ここで、*location* は、war ファイルの場所を指します。このコマンドを実行すると、`ovpmbatch` により生成されたすべてのグラフが削除されます。本オプションにより、自動的に以下の操作を行います。
 - a. Performance Manager アプリケーションを停止します。
 - b. Perf.war ファイルを、`<Install_dir>/www/webapps/OVPM` で指定した場所から抽出します。このファイルは Performance Manager 用のバイナリを含みます。

注: 場所を指定しない場合、デフォルトで Perf.war ファイルが、場所 `<Install_dir>/newconfig/OVPM` から `<Install_dir>/www/webapps/OVPM` へ抽出されます。

- c. Performance Manager アプリケーションを開始します。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チーム](#)までご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

フィードバック: インストール、アップグレード、および移行ガイド (Performance Manager 9.20)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com宛にお送りください。

